

TOTO

アクアオート サーモスタット混合栓

TENA23型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1.1

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告

禁止	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。	
	電源プラグや機能部に水をかけない 火災や感電の原因になります。	
	指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。	
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。	
	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

警告

禁止	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	
接触禁止	電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない 火災や感電の原因になります。	
水場使用禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。	
	雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。	
分解禁止	浴室など湿気の高い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。	
必ず実行	分解したり、修理・改造は絶対に行わない 火災や感電の原因になります。	
	コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること 火災や感電の原因になります。	
	フィルター掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、必ず止水栓を閉めてから行う また、湯側フィルター部分が熱くないことを確認する 高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

1-2

警告

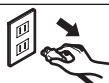


必ず実行

コンセントの位置は、床から100mm以上の位置に設置する
火災や感電の原因になります。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く
コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
火災や感電の原因になります。



注意



禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



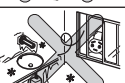
車両、船舶など、移動体では使用しない

振動により故障するおそれがあります。



屋外や凍結が予想される場所に設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



2-1

仕様

品番	TENA23型	
タイプ	AC100Vタイプ	
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	待機時	0.4W(最大値3W)
	動作時	0.6W(最大値5W)
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
給湯温度	60℃～85℃	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1～40℃	
感知距離	学習方式による感知距離変化型 (セットアップされる陶器により、自動で感知距離を設定します)	

2-2

電源コード長さ	0.75m
センサーコード長さ	0.85m
吐水流量	2L/分 定流量弁内蔵
給水接続 用途	PJ1/2 パブリックおよび一般住宅洗面所用

3

取り付け前に

1. 取付条件の確認

- 壁裏にホース・センサーコードのガイド部であるCD管をセットするため、**壁裏空間90mm**を確保してください。
- 壁にスパウトを固定するため、必ず**合板12mm以上**を入れて補強してください。
- ガラス・鏡などには、割れのおそれがあるため、取り付けしないでください。

2. 給水圧力の確認

- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるように**してください。
- 給水圧力範囲は、0.05～0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2～0.3MPaに減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の水圧をおすすめします。

3. 給湯温度の確認

- やけど防止のため、約45℃以上の湯は出ないようにしてます。適切な吐水温度や吐水量を確保するために60℃給湯をおすすめします。

4. 配管・配線について

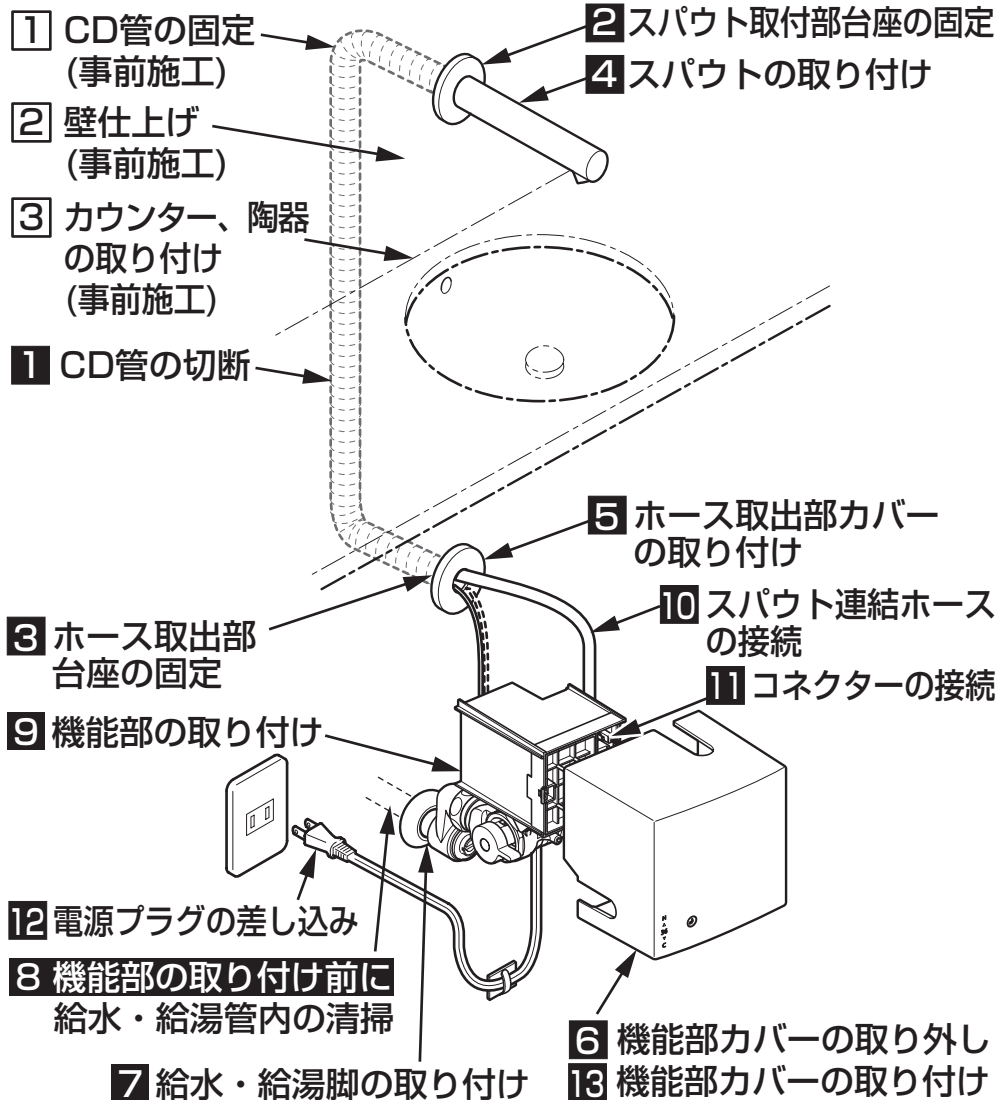
- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください
- 電源は**AC100V(50/60HZ)**、**最高消費電力は5W**です。必ずこれに適した配線をしてください。

5. その他

- 設備工事、建築工事、電気工事は十分工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- センサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- アクアオートは屋内用ですので、屋外では使用しないでください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- 取り付ける陶器にあわせて排水金具、バックハンガー取付金具、ブラケットまたはフレームが必要となります。設計施工資料集にてご確認のうえ、別途お求めください。

6-1

施工手順



注意

クリーンドライ(温風乾燥器)などのセットでは、クリーンドライのセンサー光が陶器内に入らないよう、それぞれを離してセットしてください。

事前施工について

※必ずセット図、承認図をご確認のうえ、器具取り付け前に以下の施工を実施してください。

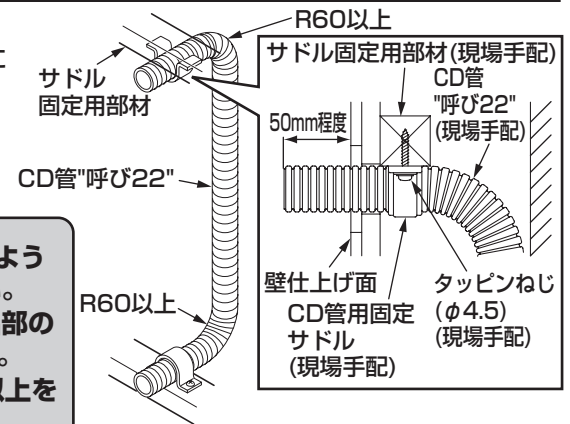
1 CD管の固定

CD管をCD管専用のサドルで堅固に固定する。

※CD管・サドル・タッピンねじをセットした別売品(TN132)を品揃えしています。

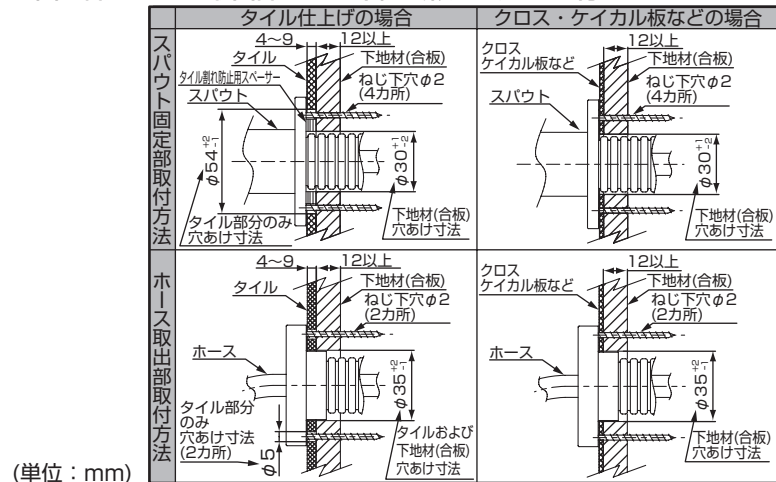
注意

- CD管は壁仕上げ面から出るように長めにセットしてください。
- スパウト固定部とホース取出部の2カ所とも固定してください。
- このときCD管の曲げR60以上を確保してください。



2 壁仕上げ

スパウト固定部、ホース取出部の壁は下記要領で穴あけを行う。



注意

- 壁にスパウトを固定するため、必ず合板12mm以上を入れて補強してください。
- ガラス・鏡などには、割れのおそれがあるため、取り付けないでください。

3 カウンター、陶器の取り付け

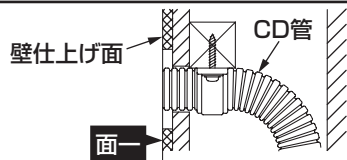
カウンター、陶器を取り付ける。

裏面へつづく

水栓取り付けについて

1 CD管の切断

スパウト固定部、ホース取出部のCD管を壁仕上げ面と面一になるように切断する。



2 スパウト取付部台座の固定

①台座を壁にあわせて、ねじ固定位置に4カ所印をつけ、φ2の下穴をあける。

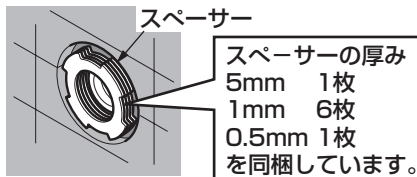
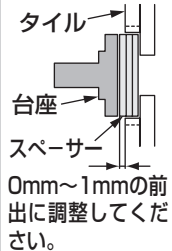
注意

きちんと水平、垂直方向に4カ所穴あけを行ってください。ズれていると、吐水口が真下に向きません。

②【タイルの場合】
タイルの切り抜き部にスペーサーを入れ、枚数を調整する。

注意

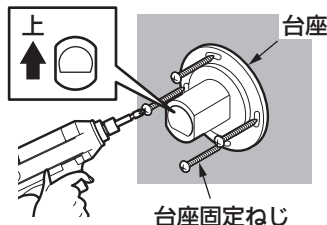
スペーサーがタイル面よりひっ込んでいるとスパウトが取り付けません。スペーサーがタイルより出過ぎていると、スパウトと壁のすき間が発生する原因となるため、十分ご注意ください。



③台座を台座固定ねじ(4本)で固定する。

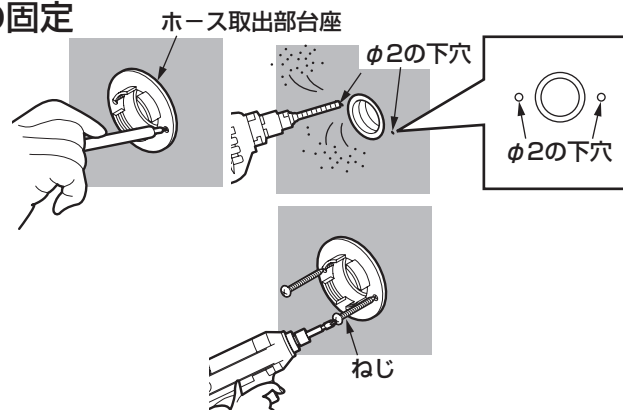
注意

- このとき、台座の向きに注意してください。誤って取り付けると、吐水口が真下に向きません。
- タイルの場合、台座とタイルのすき間にシール材を入れてください。



3 ホース取出部台座の固定

- ①台座をあわせて、水平方向に2カ所、ねじ固定位置に印をつけ、φ2の下穴をあける。
※タイルの場合は、タイル部分の下穴のみφ5であける。
- ②ねじ(2本)で壁に固定する。



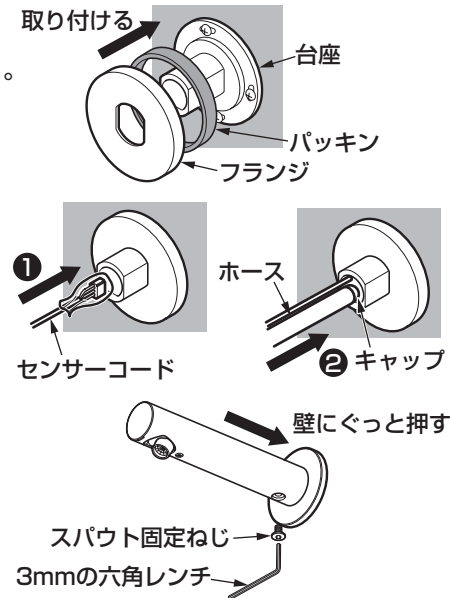
4 スパウトの取り付け

- ①台座に、パッキン、フランジを取り付ける。
- ②台座の穴からセンサーコード、ホースの順に挿入する。

注意

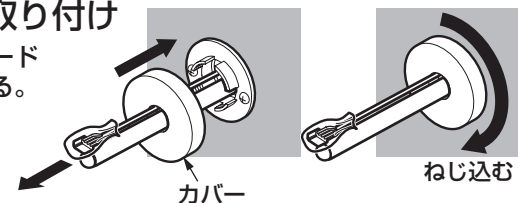
挿入時にゴミが付着しないようにするため、センサーコネクタ先端の袋は外さずに挿入してください。また、ホースの通りをよくするためホース先端に丸いキャップを付けておきます。取り外さずに挿入してください。

③スパウトを台座に挿入し、壁にぐっと押し付けながら、3mmの六角レンチでスパウト固定ねじを固定する。



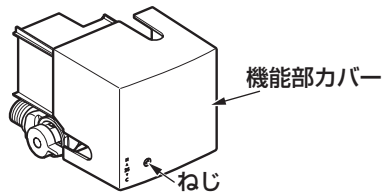
5 ホース取出部カバーの取り付け

カバーの穴にホースとセンサーコードを通し、台座にねじ込んで固定する。



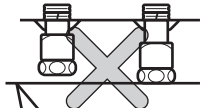
6 機能部カバーの取り外し

ねじをゆるめ、機能部カバーを手前に引く。

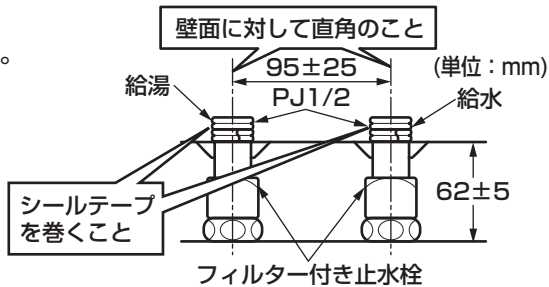


7 給水・給湯脚の取り付け

フィルター付き止水栓を取り付ける。
(給水・給湯側)



左右止水栓の端面は壁面
に対して平行で面一のこと



8 機能部の取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

止水栓を取り付け、商品を取り付ける前に**必ず給水・給湯管内の
ごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

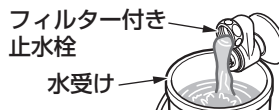
注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などが駆動部やフィルターに詰まり、以下の事象が発生します。

- ① 水が止まらない
- ② 吐水量が少ない

給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

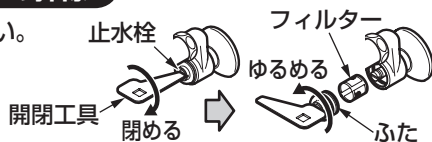
バケツなど水受けとなるものを準備し、壁や床に水が飛び散らないよう止水栓をゆっくり開き、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流す。



フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくよう
にご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を開めたあと、フィルター
ふたを外してください。**

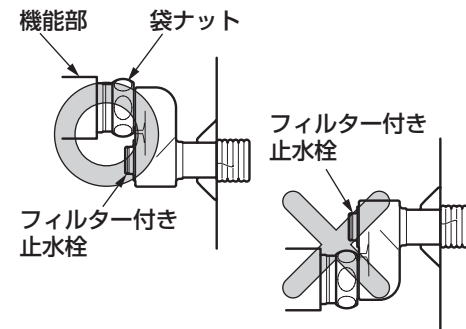


9 機能部の取り付け

- ① フィルター付き止水栓の袋ナットにパッキンを取り付ける。
- ② 機能部を取り付ける。

注意

- パッキンを必ず取り付けてください。
- フィルター付き止水栓は機能部の接続部が上になるように取り付けてください。下になるとフィルターの掃除、および止水栓の調節ができません。

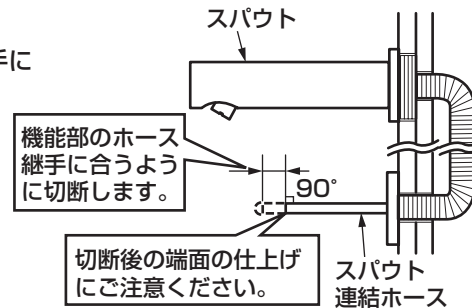


10 スパウト連結ホースの接続

- ① スパウト連結ホースを機能部のホース継手に合うように適切な長さに切断する。

注意

- ハサミなどを用い、切断面が垂直になるよう行ってください。
- スパウト連結ホースが長すぎると、折れ曲がりによる吐水不良のおそれがあります。

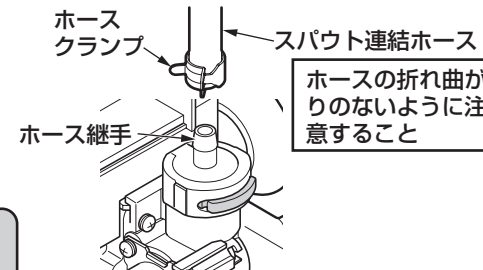


- ② スパウト連結ホースをホース継手に差し込む。

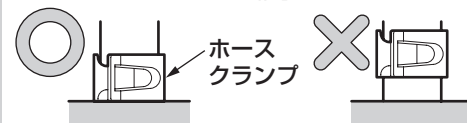
- ③ ホースクランプでホースを固定する。

注意

- スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認してください。
- スパウト連結ホースが折れ曲がることのないように注意してください。
- ホースクランプは所定の位置にしてください。
- 必ずホースクランプでスパウト連結ホースを固定してください。



ホースクランプがホース継手の上面に付くこと



11 コネクターの接続

センサーコネクタ(白)を「カチッ」というまで差し込む。

センサーコネクタ(白)



注意

センサーコネクタを真っすぐ付けること

12 電源プラグの差し込み

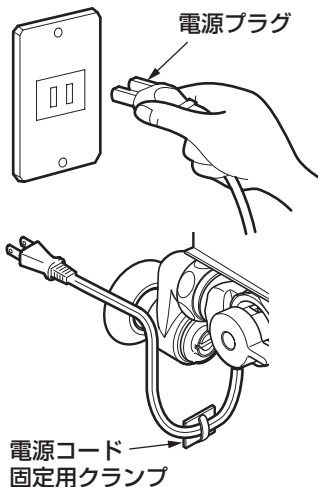
電源プラグをコンセントに差し込む。

注意

電源が入るとただちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します)

※電源を入れて約10分後にランプの点滅は自動的に消えます。

※電源コード固定用のためにクランプを同梱しています。配線の際にお使いください。

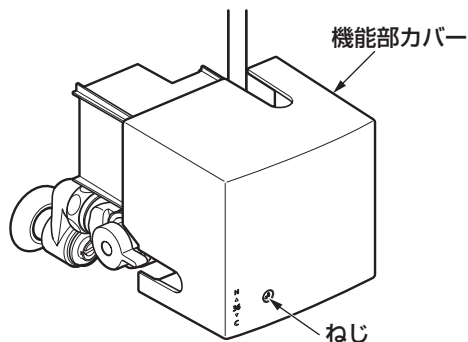


13 機能部カバーの取り付け

コネクタが確実に接続されているか確認したあと、機能部カバーを取り付ける。

注意

- 機能部カバーは確実に取り付けてください。
- 機能部の取り付け向きを確認してください。
- 機能部カバーを取り付ける際は、コードのかみこみに注意してください。



試運転および調節

1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

①水漏れの確認

止水栓を開き、給水脚・給湯脚やスパウト連結ホースの接続部から水漏れがないか確認してください。

②水を出す・止める

●吐水口に手を近づけると水が出ます。

●手を離すと約1~2秒後に水が止まります。

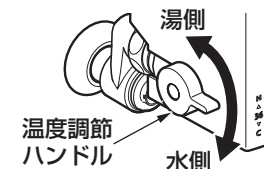
●手を近づけた状態でも、最大1分間水が出続けると自動的に止まります。(センサー感知は学習方式のため、遠くに手を差し出したまま動かさなければ障害物と判断し、水が止まります)

●センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい物をかざしたままにすると、約1分間水を出すことができます。
※洗面器内に水をためると、水の影響により感知する場合があります。

※正常に動作しない場合は、**コネクタが確実に接続されている**か確認してください。

2. 吐水温度の調節

工場で適温(約36℃)に温度調節をしています。取付現場の圧力状況などによって、所定の温度にならない場合があります。この場合は、温度調節ハンドルを手で回して温度を調節してください。



3. 流量の調節

機能部内部に、定流量弁を内蔵していますので、基本的には流量の調節は不要です。

止水栓は全開 でご利用ください。

ただし、圧力が低い場合や電気温水器とのセットにより、流量が不足する場合がありますので、下記要領にて定流量弁を取り外し流量を調節してください。

1. 開閉工具で湯側・水側の止水栓を閉める。

重要

2. ねじを外し、機能部カバーを手前に引く。

3. 止め輪を外す。

4. ホース継手を取り外す。

5. ホルダーを外し、定流量弁を取り外す。

6. ホース継手を元の位置に戻し、止め輪を取り付け、機能部カバーを取り付けてください。

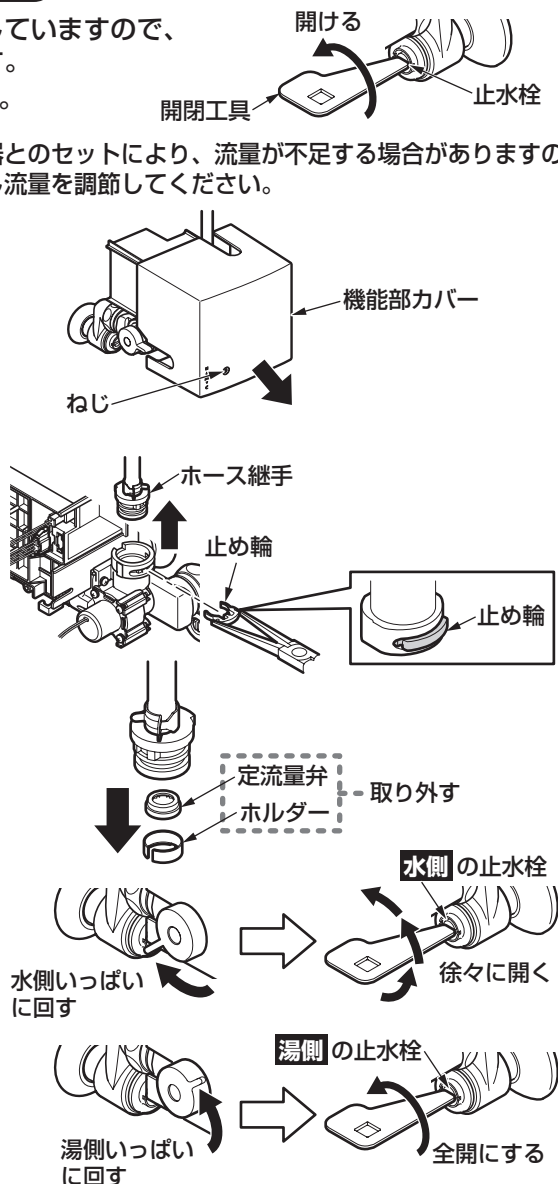
止め輪の付け忘れに注意 してください。

7. 温度調節ハンドルを水側いっぱいに戻す。

8. 止水栓を徐々に開け、流量調節をする。

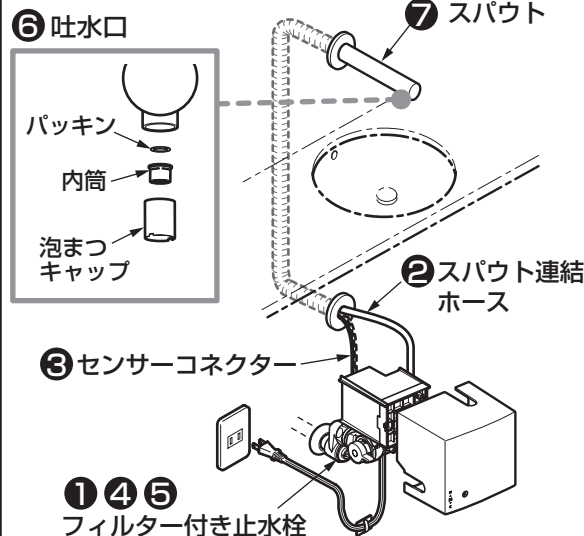
9. 温度調節ハンドルを湯側いっぱいに戻す。

10. 湯側の止水栓を全開し、吐水温度が42℃以下であることを確認する。



点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 止水栓部の水漏れはないですか？

➡ 6-3 - 7 「給水・給湯脚の取り付け」参照

② スパウト連結ホースはしっかり接続されていますか？

➡ 6-3 - 10 「スパウト連結ホースの接続」参照

コネクタの確認

コネクタがしっかり差し込まれているか確認してください。

③ コネクタはしっかり差し込まれていますか？

➡ 6-4 - 11 「コネクタの接続」参照

流量の確認

流量が少ないときは、次の項目を確認してください。

④ 止水栓は開いていますか？

➡ 7-2 - 3 「流量の調節」参照

⑤ フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 6-3 - 8 機能部の取り付け前に

給水・給湯管内の清掃参照

⑥ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

⑦ スパウトのガタツキはないですか？

➡ 6-2 - 2 「スパウト取付部台座の固定」参照